

## 「子育てしやすいまち・桐生」の発信強化について（新規）

桐生市は「第2期桐生市子ども・子育て支援事業計画」にあるように、児童手当をはじめとする子ども・子育て支援給付や、妊婦健診から各種保育事業など地域子ども・子育て支援事業の各種サービスは充実した内容です。これらのサービスは子育て世代の移住を呼び込み定住人口の増加の点からも非常に魅力的であります。

しかし、平成30年に市が行った市内の就学前児童のいる世帯を対象にしたアンケートでは、インターネットの子育て応援サイト「おやここ」（運営：NPO法人キッズバレイ）、育児を応援する行政サービスガイド「ママフレ」の認知度が40%に留まっています。特に現代の子育て世代はインターネットからの情報取得が一般的であり、桐生市、キッズバレイ、その他育児・教育に関連する団体や事業所が連携しながら、情報を一元化し発信することでより高い効果が期待できるものと考えます。つきましては、「おやここ」「ママフレ」、の両サイトにおいて、予算措置を含むサイト運営への支援をはじめ、情報の一元化や桐生市HP上での更なるPRなど、市内外に向け「子育てのしやすいまち・桐生」をより積極的にアピールすることを要望いたします。

また、「子育てのしやすいまち」のイメージを動画など各種メディアとして作成いただければ、産業界としても各事業所内や各店舗にてPRの協力する姿勢はありますので、併せてご検討いただきたく存じます。

### 桐生市からの回答

現在、子育て世代が多く利用しているスマートフォンの特性を活用した、母子手帳アプリを導入しました。その母子手帳アプリの中で、「おやここ」「ママフレ」等の子育て応援サイトとリンクしております。また、市ホームページ上でのサイトの表示方法や市内子育て関係施設における周知など、より多くの人に子育て応援サイトを認知していただけるような方策を検討してまいります。

動画等を用いての「子育てしやすいまち」としての積極的なPRにつきましては、積極的に取り組まなければならない重要な課題であると考えておりますので、関係団体と密に連携を図りながら推進してまいります。

[回答担当] 子どもすこやか部子育て相談課子育て支援センター